



町保健福祉課主催の「こころの健康づくり講演会」が10月7日、カルチャープラザ「Eki」で開かれました。「こころと眠りの深い関係」と題し、札幌市にある石金病院副院長の香坂雅子さんが講演。香坂さんは快適な睡眠と心の健康を維持する秘訣について解説。「良い睡眠は心と体を健康にします。寝る前はリラックスできるように心掛けましょう」と呼びかけ、参加した町民約90人は熱心に聴き入っていました。参加した中央3丁目の田島英俊さん（67歳）は「考え込まず眠れるようになってみたい」と話していました。

寝る前はリラックスを こころの健康づくり講演会

角田町内会連合会主催による「角田を楽しく歩こう」が、10月10日に行われ親子連れなど約50人が参加しました。地域住民の健康増進と交流を図ることを目的に開催され、今年で4回目。コースは、昨年とは異なり農村環境改善センターと角田跨線橋を往復する約4キロの道のりで、参加者は準備体操をした後、自分たちのペースで歩き、心地よい汗を流しました。終了後には、ダーツゲームも行われ、楽しいひとときを過ごしました。市川耕一会長は「多くの方に参加していただき感謝しています」と話していました。



角田を楽しく歩こう 角田町内会連合会



秋の全町一斉清掃が10月16日、打ち上げ花火を合図に町内各地で行われました。当日は天気にも恵まれ、秋の心地よい風が吹く中、各町内会・自治会を中心に道路や公園などに落ちていたごみ拾いや枯葉集めなどを実施。ほうきやスコップ、ごみ袋を持った多くの皆さんの協力によってきれいな町になりました。一斉清掃に参加した大崎紫妃ちゃん（6歳）は「タバコの吸い殻と空き缶をたくさん拾いました。きれいになって気持ちがいい」と話していました。

協力してまちをきれいに 秋の全町一斉清掃

めぐみ幼稚園の保護者で運営するひまわりの会と同園の先生が企画した「めぐみ祭り」が10月16日に開かれ、園児とその家族など大勢の人でにぎわいました。会場には、ひまわりの会によるハンドメイドのバザーやボーリング、玉入れなどのゲームコーナーが用意され、職員によるマジックショーやクレープなどのおいしい食べ物、販売なども実施。園内には、たくさんの親子連れの笑顔が広がり、秋のひとときを楽しんでいました。



笑顔がいっぱい めぐみ祭り

まちの話題では、町内の行事や出来事を紹介しています。広報に掲載できなかった話題は町ホームページに掲載しています。【URL】<http://www.town.kuriyama.hokkaido.jp/>



中里にある栗山町農産物検査場に9月30日、28年産の新米が届きました。初出荷したのは、いづれも「ななつばし」で、片山肇さん（継立）の50袋と高尾孝幸さん（大井分）の66袋、中島昌一さん（南学田）の72袋。新米は光沢や粒形など検査員による厳しいチェックが行われ、全量1等米の評価が出されました。JAそらち南の北輝男組合長から記念品を受け取った高尾さんは「春先は気温が上がらず心配でしたが、平年並みの収量になりほっとしています。1等米の評価もいただき安心しました」と話していました。

全量1等米 新米の出荷始まる

災害に強い安全な地域づくりと地域住民の防災意識向上を目的に「栗山町総合防災訓練」が10月2日、栗山中学校で行われました。大雨により河川が氾濫する危険があると想定し、町が設置した災害対策本部がときわ・みなみ中里町内会に避難勧告を発令。対象住民126人が避難訓練を行いました。このほか、消防団による放水訓練、栗山赤十字病院による救護訓練と応急手当講習、消防署による消火訓練やAED講習を実施。煙体験や災害伝言ダイヤル、移動電源車のブースも用意され、参加者は体験を通して防災を学びました。



防災意識を高める 総合防災訓練



今年で8回目となる「子どもフェスティバル」が10月2日、総合福祉センター「しやるる」で行われました。町内の子育てに関係する機関などで企画・運営。当日は、体を動かすアスレチックなど10個のブースが用意されました。また、フェスティバルの締めくくりには、町図書館司書による「ドレミの歌」に合わせたパネルシアターなども行われ、訪れた約260人の親子は楽しいひとときを過ごしました。咲綺ちゃん（5歳）、潤典くん（2歳）と来ていた母親の加藤麻衣子さんは「子どもの年齢に合ったブースで楽しむ姿が見られてうれしい」と話していました。

楽しいブースがいっぱい 子どもフェスティバル

町が生産する「栗肥土」秋の特別販売が10月6日、旧老人憩いの家前で行われました。栗肥土は、花や野菜などの発育促進に効果があります。毎年4月に特別販売を行っています。秋にも特別販売を行ってほしい」との要望を受けて昨年より開催。秋の特別販売は、5袋購入につき1袋プレゼントの特典が付いていることもあり、会場には販売時間前からたくさんの方が購入に訪れ、用意していた500袋が完売しました。初めて購入に訪れた富士の久保進さん（71歳）は「花畑に使ってみました」と話していました。



栗肥土 秋の特別販売